

平成25年度外務省行政事業レビュー「公開プロセス」とりまとめ結果

平成25年6月18日

No.	事業名	評価結果	とりまとめコメント
1	貧困農民支援(無償資金協力)	<p>事業全体の抜本的改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状通り 2名 ・ 事業内容の改善 1名 ・ 事業全体の抜本的改善 3名 	<p>援助の目標設定や効果測定が不十分であり、PDC Aサイクルの確立を含めた有効な援助の仕組みを整備すべく、援助のあり方を抜本的に見直すべき。 (一旦廃止すべきとの意見も2名あった。)</p> <p>相手国政府による事業成果の報告の徹底等を含め、見返り資金のあり方についても、見直しが必要。</p>
2	平和構築人材育成事業	<p>事業内容の改善 / 事業全体の抜本的改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状通り 0名 ・ 事業内容の改善 3名 ・ 事業全体の抜本的改善 3名 	<p>事業の成果の判断が難しく、より効率的、効果的な事業となるよう見直すべき。 実質的に一者応札が続いており、委託先の選定が不透明。競争性の確保を含めた見直しが必要。 (外国の機関を利用すべき、再委託先が不相当等により、廃止すべしとの意見も2名あった。)</p>
3	海外邦人の安全に関する情報収集と官民連携	<p>現状通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状通り 3名 ・ 事業内容の改善 2名 ・ 事業全体の抜本的改善 1名 	<p>中東・アフリカ地域をはじめとする英語以外の情報、公式な情報以外の市民社会の情報等を含め、事業の効率性にも配慮しつつ、より体系的な情報収集体制を構築すべき。</p>